

〔養護教育室〕

1 昭和53年度精神薄弱教育教育課程

福島県集会

(1) 目的

小学校及び中学校の精神薄弱特殊学級における、教育課程に関する指導上の問題点について、部会別に研究協議し、その解明を図り、もって教職員の指導力向上と学習指導の改善に資する。

(2) 主催

文部省、福島県教育委員会、郡山市教育委員会

(3) 期 日

昭和53年8月1日～8月2日

(4) 会 場

郡山市立行健小学校

(5) 講 師

宇都宮大学教育学部教授 丹野由二

(6) 参加者

122名

(7) 内 容

ア 課 題

児童生徒の障害の状態及び能力に即し、生活科又は国語科の指導を効果的に行うためには、どのように指導計画を作成し、指導したらよいか。

イ 研究発表並びに研究協議

ウ 講師による講演

○精神薄弱特殊学級の教育課程の編成について

宇都宮大学教育学部教授 丹野由二

2 養護教育教育課程編成管理講習会

(1) 目的

盲・聾・養護学校及び特殊学級における教育課程の編成管理について説明し、必要な研究協議を行い養護教育の改善充実に資する。

(2) 主催

福島県教育委員会

(3) 期日及び会場

昭和53年9月18日 県立聾学校

19日 〃 猪苗代養護学校

28日 〃 盲学校

29日 相馬市立養護学校

③ 研究指定校一覧

管内	学 校 名	校 長 名	研 究 主 題
県 北	福島市立福島第二小学校	渡 辺 五 郎	低学年における数量や図形の内容を理解させるには、操作的な活動をどのようにとり入れたらよいか。 (算 数)
県 南	東白川郡棚倉町立近津小学校	小 峰 孟	自ら学ぶ力を育てる教育課程の編成と学習指導の実践的研究。 — 算数科における基礎的能力の育成と学習指導の改善 — (算 数)
会 津	喜多方市立第二小学校	今 井 新 吉	自ら喜んで学習にとりくむ子どもにするための学習指導。 (国語・理科)

昭和53年10月2日 白河市合同庁舎
9日 二本松市文化センター
11日 県立平養護学校
18日 双葉町体育館

昭和54年1月26日 県立須賀川養護学校

(4) 対 象

県立及び市立養護教育諸学校教頭、教務主任並びに特殊学級設置公立小・中学校教頭、教務主任。

(5) 参加者数

250名

第4節 学力向上対策

〔義務教育課〕

学力向上を重点目標として、教育条件の整備に努めるとともに、研究学校の指定による学習指導の改善・充実に努力した。

1 各種研究指定校の委嘱

本県児童生徒の学力向上と、豊かな人間形成に資するため、教育課程研究指定校を5校指定した。

(1) 教育課程研究指定校

① 目 的

小・中学校における教育課程の編成実施上の問題について調査研究を行い、もって本県小・中学校教育の改善・充実に資する。

② 運 営

ア 過去における学習指導研究指定校の研究成果をじゅうぶんに取り入れ、効率的な運営に努める。

イ 学校経営全般にわたって診断を行い、問題点のは握と改善に努め、学力向上の成果をあげる。

ウ 研究計画の立案に当たっては、学校の実情、児童生徒の実態をよくは握し、具体的な研究主題を設定する。

エ 年度末には研究報告書を作成する。発表会を行った学校は、研究集録をもってこれに代える。